**ハンドマイク街頭演説原稿例　　通常国会開会**

二〇二二年一月十八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、通常国会が十七日から始まりました。初日には、岸田首相が就任後初めての施政方針演説を行い、「経済・社会全体の大変革に取り組む」とか、「新しい時代を拓（ひら）く」と大見えを切りました。しかしながら、国会に提出される新年度予算案はそうなっているのでしょうか。

　岸田首相は昨年の自民党総裁選で、大資産家の金融所得への課税強化を掲げていましたが、まったく消えてしまいました。施政方針演説では「デジタル」、「経済安全保障」、「科学技術・イノベーション」などを強調していますが、その中身は大企業への応援が中心です。大変革どころか、今までの自民党政権がやってきたことの焼き直しでしかないのではないでしょうか。

　岸田首相はまた、分配を重視すると言って、労働者の賃上げを強調しています。では何をやるかというと、来年度の税制改定で行われる「賃上げ」減税ぐらいしかありません。もうけがあって法人税を払っている大企業は利用できますが、もうけが少なかったりなかったりして税金を払えない、多くの中小企業には使えない制度です。しかも、このやり方は以前にやったものの、賃上げに効果がありませんでした。これでは看板倒れもいいところではないでしょうか。

　みなさん、岸田首相は「新しい資本主義」を強調し、これまでの市場任せの「新自由主義」が格差と貧困を拡大し、環境を悪化させ、中間層を衰退させたと述べました。それなのに、岸田首相がやろうとしていることは、今までのやり方を続けるものでしかありません。日本共産党は、雇用・社会保障・税制を根本的に改革し、〝やさしく強い経済〟を実現しようと提案しています。日本共産党へのご支援を、よろしくお願いいたします。

　ところでみなさん、岸田首相は施政方針演説で「敵基地攻撃能力」の検討や、「スピード感」をもった軍事力の抜本的強化を掲げ、軍事対軍事の緊張を高める姿勢をあらわにしました。一方が軍事的な対応をとれば、相手も軍事的に対応し、どんどんエスカレートすることは、これまでの歴史に多くの事例があります。軍事を強調する岸田首相のやり方は軍事衝突を招き、戦乱を呼び起こすものではないでしょうか。

　そのような姿勢の岸田首相が、憲法について「積極的な議論が行われることを心から期待」すると、改憲の雰囲気を高めようとしています。戦争放棄を規定した９条の改定が狙いであることが、透けて見えるのではないでしょうか。このような危険な岸田政権から新しい政治へ切り替えるため、日本共産党は引き続き全力で取り組んでまいります。引き続くご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

　最後になりますが、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）